

8/20

締切

みやぎ NPO プラザ

事務室 & ショップ・ギャラリー

使用団体募集!

皆さんの熱い想いを実現させるため、みやぎNPOプラザの事務室や常設ショップ・ギャラリーを活用してみませんか？

メンバーがいつでも集まれる拠点を持つことは、組織基盤の強化や活動の発展につながります。

みやぎNPOプラザも、しっかり運営をサポートします。この機会をお見逃しなく！

募集施設	募集数	面積	月額使用料(税込)	使用期間	主要設備
事務室(大)	1団体	約18㎡・約11畳	18,500円	令和元年 9月1日(日) より最長3年間	机・事務用椅子・補助椅子・ キャビネット×各1 (※上記、事務室のみ) 電気コンセント、電話用モジュ ラージャック(アナログ)、 インターネット用モジュラ ージャック(別途月額1,000円 ※税込)
事務室(中)	2団体	約9㎡・約5.5畳	9,200円		
事務室(小)	2団体	約4㎡・約2.5畳	4,100円		
常設ショップ	1団体	約10㎡・約6畳	10,200円		

～使用開始までのスケジュール～

8/20(火) 募集(申込)締切

↓

8/27(火) 公開ヒアリング・選考

↓

8/28(水) 選考結果連絡

↓

各施設9月1日から使用開始

申込方法

必ず「募集要項」の応募団体の要件、入居後の使用条件、選考の方法など詳細をご確認のうえ、所定の申込書と必要書類を併せて、みやぎ NPO プラザまでご持参ください。※募集要項・申込書はみやぎ NPO プラザ窓口、宮城県共同参画社会推進課などで配布しています。また、インターネット(https://www.miyagi-npo.gr.jp)からもダウンロードできます。

連絡先

みやぎ NPO プラザ

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地

TEL: 022-256-0505 FAX: 022-256-0533 E-mail: npo@miyagi-npo.gr.jp

図書販売

コーナー

みやぎ NPO プラザの図書販売コーナーでは、NPO・市民活動団体が発行した書籍を市民に広めるため、図書の委託販売をしています。

特に「知っておきたい NPO のこと」シリーズ(基本編・参加編・協働編・事業評価編)は、NPO の基礎からちょっと踏み込んだ内容まで簡単に知ることができます。各 500 円(税込)。

ご購入は、ぜひプラザで！

知っておきたい NPO のこと 1 基本編

信頼されるNPOの7つの条件

NPO基礎知識 Q&A

日本NPOセンター

▲NPO 初心者向けの基本編(発行：認定 NPO 法人日本 NPO センター)

知っておきたい NPO のこと 5 事業評価編

評価をNPOの力にするために事業評価の基本的考え方と流れ解説

NPOの評価：意識調査報告

日本NPOセンター

▲評価を考える第一歩に…事業評価編(発行：認定 NPO 法人日本 NPO センター)

NPO法人に認証された団体

仙台市所轄分4月1日～5月31日

	団体名	所在地	活動内容	認証日
仙台市	元気いきいきファクトリー 仙台泉	泉区	高齢者の健康づくりに関する情報提供とサポート 高齢者相互間の助け合いネットワークを創出 高齢者による公益ビジネスの機会を創出 他	5/7
	スマイル・ワン	青葉区	児童福祉法に基づく障害児放課後等デイサービス事業 介護保険法に基づく居宅介護・訪問介護・重度訪問介護事業 その他、上記に関わる事業	5/21

宮城県のNPO法人数 818団体 (2019年5月31日現在)

宮城県等所轄:412団体 仙台市所轄:406団体

※解散、所轄庁変更、認証取消、認証撤回した団体を除く

※2019年4月1日～5月31日の宮城県所轄分のNPO法人認証団体はありません。

One to One

発行日 2019年7月1日

発行 宮城県民間非営利活動プラザ(みやぎNPOプラザ)

発行部数 6,000部

編集 認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

編集スタッフ 堀川晴代 後藤和広 小野寺真美 丹野伶菜

【お問い合わせ】

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5

TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533

E-mail: npo@miyagi-npo.gr.jp

URL: https://www.miyagi-npo.gr.jp

「One to One」は、県内各地でのさまざまな NPO 活動により、ひととひととが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるようお願いを込めたニュースレターです。

ひととひととを
むすぶ情報紙

NPO

みやぎNPOプラザ情報

2019.7 vol.110

One to One

てんかんの悩み、抱え込まずに相談を!

公益社団法人
日本てんかん協会宮城県支部(波の会)

正しい理解を

てんかんは年齢に関係なく誰でも患する可能性のある脳神経の病気で、100 人に 1 人が発症すると言われています。症状には個人差がありますが、専門医のもと、適切な治療を受ければ症状が改善され、発作のない生活を送ることができます。しかし、感染や遺伝する病気であるなどの誤った情報により、多くの当事者は偏見にさらされ、結婚や就職に困難を感じ、孤独を抱えて生活せざるを得ない状況です。

てんかん協会宮城県支部は、当事者やその家族を支え、正しい理解を広めようと、1980 年から活動を始めました。「世間の持つてんかんに対する誤った認識はなかなか変わらない。誰にも言えず一人で悩んでいる人がいたら、諦めず私たちに相談してほしい」と、支部代表の松崎幸司さんと、事務局長の萩原せつ子さんは話します。病気が正しく理解されるよう、医療関係者を迎えた講演会や、当事者やその家族が参加し情報交換できる定例会、電話相談などを通してサポートすることで、「相談して良かった。一人じゃなかった」と、参加者は前向きになれるといいます。

継続的な活動に向けて

てんかん協会はプラザの事務室を使用し間もなく 3 年を迎えますが、公に開かれた場所ということもあり、相談者も安心して足を運ぶことができ、大い

活用できたとのこと。退去後もさらに当事者のサポートや啓発活動に力を注いでいきたいと考えています。しかし、そのための最大の課題は、団体の活動を支える若い世代の参加や、活動資金の調達。「てんかんに対する社会的理解の促進と、悩む人たちの社会援護活動を続けるために後継者を育てていきたい」と想いを新たにしています。

てんかんについて、インターネットでも情報を得られるようになりましたが、実際に会って一人ひとりの状態に合わせたアドバイスがあれば、人生がより明るい良い方向に変わっていきます。長年の活動で培った知識と経験を活かしながら、これからも悩みを抱える人に寄り添い続けることが目標です。

てんかんを知ってもらうためイベントに参加

相談先：TEL 080-1668-3950 (9:00～20:00)

行政と NPO の協働 — 第一歩は、対等な関係づくり —

宮城県には東日本大震災からの復興や加速する少子高齢化、過疎化などに伴う課題が山積しています。しかし、行政だけでそれらの課題を解決することはもはや難しく、市民が主体となって地域の課題解決のために活動する NPO と行政との協働に期待が寄せられています。

みやぎ NPO プラザでは、毎年、行政と NPO がよりよい協働を進められるよう、県内の行政職員を対象に NPO の理解を深める講座を開催しています。今年は 5 月 30 日（木）に宮城県庁を会場に開催しました。講師は、みやぎ NPO プラザ指定管理者の認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるるの代表理事である大久保朝江さんです。

協働のメリットは、有効な手段で最大限の効果を発揮して地域課題を解決したいと考える行政と、地域のニーズをよく把握し、柔軟に対応できる NPO がともに手を携えることで、市民が望む取り組みと成果が期待できる点にあります。協働において互いの長所を活かすには、行政が一方的に指示を出すよ

うな関係を避け、両者が対等な立場で情報共有し、目的や解決方法について意見交換や中間評価をしながら進めることが大切です。また、活動がひと区切りついたら、成果について相互評価することも重要です。さらに、行政と NPO が協働することは、NPO が市民の主体性を育み、それを発揮する場がつけられ、行政に地域の課題解決を任せきりにしていた社会を、市民が自治する社会へと転換するきっかけになることも期待されます。

みやぎ NPO プラザでは、今後も行政と NPO が互いの理解を深める取り組みを続けていきます。



▲熱心な質問が飛び交いました

あなたの団体は大丈夫？ — NPO 法人の休眠と解散 —

昨年、新聞で NPO 法人が売買され、犯罪グループなどに悪用されているという報道があり、売買された NPO 法人の大半に活動実態がないことが問題視されました。

内閣府では、こうした問題を受け、「事業報告書等を提出していない法人」と「事業報告書等を提出しているものの、活動実態が不明確な法人」を「休眠状態」と位置づけ、昨年 12 月に全所轄庁に対しアンケート調査を行い、その結果を 4 月に公表しました。

NPO 法人は事業年度が終了した後、3 か月以内に事業報告書等を所轄庁に提出する義務がありますが、調査結果では、その義務を果たしていない法人が、全体の約 16%に上がることが判明しました。また、事業報告書等で「活動実績なし」などと記入している法人が、40 所轄庁でのべ 1,301 法人、「支出ゼロ」などと記入している法人は、16 所轄庁でのべ 2,083 法人に上っています。宮城県内にも休眠状態の法人

が一定数あると推測されます。

休眠状態でも、法人としての義務を果たし、市民にしっかり説明できれば、責任を問われることはありません。しかし、法人として義務を果たせない状態であれば問題です。所轄庁は NPO 法に基づき、事業報告書等を提出していない法人に対して、提出の督促や改善命令、裁判所への過料事件の通知、市民への説明要請などの処分や指導等を行うことになります。法人の代表者へ連絡が取れない場合には、他の理事へ処分や指導の通知が届くこともあり、理事である以上、「知らなかった」「忘れていた」では済まないのです。

こうした事態を避けるためにも、NPO 法人の理事は責務として団体の活動実態を常に把握しておかなければなりません。状況によっては法人の解散を検討する必要もあるでしょう。法人運営や解散にお悩みの方は、早めに所轄庁やみやぎ NPO プラザにご相談下さい。

助成金申請と助成事業の会計のポイント！

助成金は、NPO や市民活動団体にとってミッション達成のために活用できる大切な資金源です。助成金申請に挑戦する団体の皆さんに向けて、申請や助成事業の会計のポイントについてまとめました。

■どのような姿を目指すのか

助成する側は、どのような課題に取り組み、どう成果を生み出すのか、助成事業が終わった後も継続的に活動できる仕組みが作れるか、という点を重視します。そのため、申請書には、取り組む課題の現状が客観的にわかるように数値化するなどし、なぜ助成金が必要なのかを伝えましょう。そして、その課題をどのような切り口で、どう解決するのかがわかるように、具体的な活動内容や時期、予算を検討します。審査する側がイメージしやすいように、取り組む課題や、実施事業の展開と成果が、時間軸に沿ったストーリーとしてまとめられていることが大切です。

また、助成金の使途は、各助成金で異なるので、募集要項を熟読し、しっかりと理解した上で、かかる費用の詳細を計算し、予算を立てましょう。

■助成金は誰のため？

助成金は課題を抱えた市民のために「託されたお金」です。そのため、事業終了後、助成金がどのように課題解決に使われたのか、助成元に報告するこ

とになります。報告書には、例えばアンケートなどの客観的な評価や、参加者数などの具体的な数字も盛り込み、成果が伝わるように作成するとよいでしょう。

■助成事業の会計ポイント

助成金を使って実施する事業は、他の事業と分けて日々の会計を行いましょう。証憑書類（取引の事実を証明する領収書などの書類）も、他の事業と混同してしまわないように、分けて保管しましょう。また、交通費の精算についても、どの活動や事業の支出であるのか明確に区別できるように、例えば「旅費精算書」などを作成して領収書に添付して保管することをおすすめします。そうすることで、助成金事業終了後に会計報告資料がスムーズに作成できます。

あくまでも助成金はステップアップのために使うものなので、助成期間が終了しても事業継続ができるような計画をたてることが大切です。まずは無理せず、身の丈にあった活動で助成金申請に挑戦してみてはいかがでしょうか！

みやぎ NPO プラザ

講座開催情報

学んで安心！ NPO のための税金基礎講座

日 時：2019 年 7 月 26 日（金）
13:30 ～ 16:30
場 所：みやぎ NPO プラザ 第 2 会議室
内 容：NPO 法人に関係する税金の概要、法人税の課税対象、軽減税率制度の対策など
講 師：平野由紀子さん
（税理士 東北税理士会仙台北支部所属）
対 象：NPO 法人・市民活動団体の代表、役員、会計担当者など
参加費：1,000 円（税込）
持ち物：筆記用具

NPO・市民活動団体のための 会計初級講座 in 東松島

日 時：2019 年 8 月 30 日（金）
13:30 ～ 16:00
場 所：東松島市蔵しっくパーク まちづくり研修室
内 容：会計業務の流れ、帳簿の付け方のポイント、伝票整理の方法など
講 師：小野恵子さん
（会計サポーター）
対 象：NPO・市民活動団体・町内会等の会計初心者、これから担当される方、再確認したい方など
参加費：500 円（税込）
持ち物：筆記用具・電卓

お申し込みはみやぎ NPO プラザへ

information

6月15日までにみやぎNPOプラザ及び、みやぎNPO情報ネットに届いた情報です。詳細は各情報の連絡先にお問合わせ下さい。より詳しい情報は右側のQRコードからご覧いただけます。



ボランティア情報



町をきれいに!! 第71回美化活動 ボランティア募集

ポイ捨てごみを一掃し、岩沼をきれいな町にしましょう。ボランティア保険、ごみ袋、トンゴ、軍手など本会で準備しています。必要な方にはボランティア活動証明書を発行しています。

- 活動日時：7月14日(日) 9:00～11:00(2時間)
- 集合場所：9:00に都築様駐車場集合
(前ファミリーマート岩沼南長谷店駐車場)
- 活動内容：県道39号及び市道の美化活動(ごみ拾い活動)。老若男女、誰にでもできるボランティアです。ご協力下さい。雨天時、強風時は中止します。
- 参加費：無料
- 申込方法：前日までに下記連絡先にE-mailで申し込み。申込み時、お名前、電話番号をお知らせ下さい。当日は直接集合場所へお越し下さい。中止する場合は当日8時に連絡いたします。
- 主催：美化ボランティア団体 ごみゼロ岩沼
- 連絡先：E-mail: hideo180928@ybb.ne.jp (担当：大山)

運転ボランティア募集中!

一人暮らしや夫婦のみで暮らす高齢宅等に、手作り弁当をお届けしています。毎日、計10コースの運転者が必要です。運転が好きな方、一緒に活動しませんか?

- 活動日時：①昼の部 11:00～12:30(月曜～日曜)
②夕方の部 16:00～18:00(月曜～土曜)
※終了時間は交通事情等により前後します。
※週1日(昼か夕)から活動できます。
※男性・女性・シニアの方も活動しています。
※ガソリン代支給します。
(昼の部1回850円、夜の部1回1,050円)
- 活動地域：若林区を中心に、宮城野区、青葉区の一部
- 活動内容：・配達担当者とコンビを組み、ご利用者様宅をまわるコースを運転していただきます。
・弁当の手渡しや安否確認などは基本的に配達担当者が行います。
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。

- 詳しくはおたずねください。
- 募集主体：認定NPO法人あかねグループ
- 連絡先：〒984-0823 仙台市若林区遠見塚1-5-35
TEL: 022-285-0945

運営スタッフ・ボランティア募集中!!

大崎市内でこども食堂の開設と運営を行っている市民グループです。毎月第4日曜日に、みやぎ生協古川南店にて「おおさきまんぷくキッチン」を開催しています。ぜひ一緒に子ども食堂の活動や、お手伝いをしませんか!

- 活動日時：毎月第4日曜日
- 活動場所：大崎市周辺の地域
- 活動内容：こども食堂の立ち上げと運営
- 募集条件：子どもが好きな方。こども食堂に興味・関心のある方。子どもたちのために何か活動したいと考えている方。年齢・経験は問いません。スタッフも全員未経験者です。
- 申込方法：TEL、E-mailで申し込み。
- 募集主体：大崎こども食堂の会
- 連絡先：TEL: 090-8561-4267(高橋)
E-mail: osaki.kodomo.shokudo@gmail.com

有給スタッフ



事務局 常勤スタッフ募集中!!

NPOに関する活動紹介の情報発信、人材育成講座・会計支援、組織運営のアドバイスなどの事業に携わります。

- 勤務時間：9:00～18:00(休憩1h)
- 勤務場所：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる事務局
- 給与：月給168,000円～190,000円
- 応募方法：電話連絡の上、履歴書(写貼・自筆)を郵送またはご持参ください。
※詳細はHPをご確認ください。
- 募集主体：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
TEL: 022-791-9323 FAX: 022-791-9327
URL: https://www.yururu.com/

NPO 向けの専門相談

みやぎNPOプラザでは、NPO・市民活動団体の皆さまからの団体の運営や会計税務に関する相談を承っています。お気軽にご利用ください。

- NPOのための事業企画・事業展開相談 8月1日(木) 13:00～17:00
- NPOのための会計税務相談 8月29日(木) 13:00～17:00
- 法人設立・団体運営相談 毎週水曜日 13:00～17:00
- 認定NPO法人申請相談 事前に相談希望日をお知らせください

お申込みはコチラから

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
指定管理者：認定特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる

☎ 022-256-0505
☎ 022-256-0533
✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

事業案内



なりたてママの子育てサロン おひさまBaby

0歳児のママ同士、子育てのちょっとした悩みを話したり、情報交換をしたり、月替わりの企画でリフレッシュしたりしています。気の合うママ友ができれば、とても心強い存在となり、子育ても豊かになりますよ。お気軽にお問合せ・お申込み下さい。

- 日時：毎月第2水曜日(変更有) 10:30～11:30
- 場所：みやぎNPOプラザ
- 内容：ふれあいあそび、子育て&地域情報、カフェタイム、月替わり企画
- 対象：0歳児(第一子のみ)と保護者
- 参加費：100円
- 申込方法：ショートメール・TEL、E-mailで申込み
- 主催：NPO おひさまキッズ
- 連絡先：担当：平塚
ショートメール・TEL: 090-9741-6334
E-mail: ohisamakids@gmail.com

エコフェスタ2019 リユースマーケットもったいない市 出店者募集中!

リユースマーケットの出店者を募集中です。古着の仕分け・販売のボランティアも募集中ですので、詳しくはお問合せ下さい。

- 日時：9月1日(日) 10:00～15:00
- 場所：勾当台公園 市民広場 グリーンハウス前
- 内容：・リユースマーケット
家庭の不用品やリメイク品を楽しく販売
・古布の山コーナー
不用の衣類やシャツ・タオルなど、お持ちください。きもの・ふろしきや毛糸も集めていきます。(透明な袋などに入れて下さい)
- 注意：※持ち込めないもの
わたの入ったもの(ジャンパー、キルティング、ぬいぐるみ等)、カーテン、フリース、ビニール、革製品、制服、作業服、洗濯していないもの、汚れのひどいもの
- 出店スペース：1シート/2.5×2.5m
※販売品は家庭で不用になった品物に限ります。商売がらみの販売や業者の方の応募は固くお断りします。
- 定員：限定20シート
- 参加費：3,000円
- 申込方法：下記連絡先まで「代表者氏名、住所、電話番号(当日も連絡可能な番号)/FAX」、「参加人数、

「販売品名」を明記の上、往復はがき、E-mail(携帯メール不可)、FAXにて申込み
※FAXでの申込の場合はFAX番号も明記

- 申込締切：8月6日(火)
- 主催：ACT53 仙台
- 連絡先：〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-5
コーポラス島田A-105
FAX: 022-295-2910
E-mail: act53sendainakama@yahoo.co.jp

イベント



7/13 7月～8月 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

大切な人を亡くした方の「わかちあいの会」を宮城県内で開催しております。病死・事故死・自死・災害等、亡くなった原因は問いません。

- 日時場所：【仙台会場】
7月13日(土)、8月10日(土) 14:00～16:30
あしなが育英会仙台レインボーハウス3階
(仙台市青葉区五橋2-1-15)
※毎月第2土曜日開催
※敷地内に駐車場・駐輪場がありますが、満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用下さい。
- 【石巻会場】
7月20日(土)、8月17日(土) 14:00～16:30
石巻レインボーハウス(石巻市中里2-2-3)
※毎月第3土曜日開催。
※敷地内に駐車場・駐輪場がありますが、満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用下さい。
- 【気仙沼会場】
8月24日(土) 13:30～16:00【偶数月第4土曜日】
気仙沼市地域交流センターワンテンビル内
「交流室B」(気仙沼市八日町1-1-10)
※ビル内の駐車場をご利用下さい。
- 対象：大切な人をなくされた方、どなたでもご参加いただけます。
- 参加費：無料
- 申込方法：事前の申込みは、必須ではありませんが準備の都合上、ご連絡頂けると助かります。下記連絡先にTEL・E-mailでお申込み下さい。
※会場のお問い合わせ、当日の出欠等の連絡も下記連絡先まで
- 主催：NPO法人仙台グリーンケア研究会
- 連絡先：TEL: 070-5548-2186
E-mail: griefoffice@gmail.com

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、FAX、E-mail、郵送にてお寄せ下さい。掲載は無料です!
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せはプラザまで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

みやぎNPOプラザ
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
TEL: 022-256-0505 FAX: 022-256-0533
E-mail: npo@miyagi-npo.gr.jp URL: https://miyagi-npo.gr.jp/

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<https://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。

連絡先 ●TEL/FAX: 022-256-0511
●E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp

7/14 こころのトラブル・学習会

いつも緊張が強い、人の視線が気になる、皆の前で話せない、電車に乗るのが怖い、不安がとても強く行動できない、など様々な悩みを抱えた方…同じ経験を持ち、森田療法で克服した仲間が丁寧にお話を聞き、アドバイスいたします。なごやかな雰囲気の中、悩みを共有し、学習し、経験者の話を聞いてみませんか？お気軽にご参加下さい。

- 日 時：7月14日(日) 13:00～8月11日(日) 13:00～
※毎月第2日曜日に開催しています。
- 場 所：仙台市生涯学習支援センター
※仙台駅東口より徒歩5分
- 参 加 費：初めての方は無料
- 申込方法：特にありません。開催日時に直接会場へ。
- 主 催：NPO 法人生活の発見会「仙台集談会」
- 連 絡 先：仙台集談会事務局
TEL：090-2981-4139
URL：http://www.hakkenkai.jp/

7/14 7月の定例青葉山視察会&トトロ観察会

オカトラノオ、バイカツツジ、ハエドクソウ、ノギランなどの花々、花や樹液に集まる昆虫達を観察します。キビタキなどの夏鳥たちにも出会えることでしょ。

- 日 時：7月14日(日) 10:30集合 12:30頃解散
※定例自然観(視)察会は、毎月第2日曜日に開催しています。2月と8月はお休みです。
- 集合場所：宮城教育大学正門前
※仙台駅西口バスターミナル9番乗り場から、
宮教大行か、青葉台行、または16番乗り場から交通公園行。乗車時間約20分。
- 対 象：どなたでも参加自由です。
- 参 加 費：無料
- 主 催：NPO 法人青葉山の緑を守る会
- 連 絡 先：TEL：022-229-4196(植村)
E-mail：aobayama_mamorukai@yahoo.co.jp
URL：http://aobanomori.web.fc2.com/

7/19 災害の教訓を日頃の備えに～仙台・利府長町活断層とハザードマップの見方～

鶴ケ谷地区を含めた仙台市の危険度や揺れやすさなどを表示した、仙台市地震ハザードマップのご紹介と過去の災害の教訓から住まいと家族の地震対策について皆さんと一緒に考えたいと思います。参加者の皆さんには仙台市ハザードマップを差し上げます。

- 日 時：7月19日(金) 14:00～15:30
- 場 所：鶴ケ谷市民センター
(みやぎ生協鶴ケ谷店西隣り)
- 講 師：高橋良子氏(仙台市建築指導課主査)
及川由佳里氏(仙台市減災推進課主査)
- 参 加 費：無料
※申込み不要です。直接会場にお越し下さい。
- 主 催：つるがや元気会
- 連 絡 先：TEL：022-251-5663(ひまわり手芸店：芦澤)

7/20 てんかん医療講演会&相談会

講演のあと、参加者同士の交流会あり。個別相談会も実施します。

- 日 時：7月20日(土) 13:00～16:30
- 場 所：亘理町中央公民館 視聴覚室
(亘理町字旧館61-22 TEL：0223-34-3111)
- 講 師：萩野谷和裕氏(宮城県立こども病院副院長)
- 定 員：80名
- 参 加 費：無料
- 主 催：公益社団法人日本てんかん協会宮城県支部
(波の会)
- 連 絡 先：TEL：022-247-0356(事務局担当：萩原)

7/27 リカバリーの学校 in 仙台「働くこととリカバリー」

リカバリーとは？様々な定義がありますが、今回は「精神疾患やメンタル不調がありながらも、充実した人生を送ること」としたいと考えます。参加者と一緒に話すことで、それぞれのリカバリーについて考えましょう。

- 日 時：7月27日(土) 14:30～17:00(受付14:15)
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター4階 研修室5
- 対 象：当事者、支援者など、興味のある方はどなたでも。
当日は匿名参加です。
- 定 員：20名(先着)
- 参 加 費：100円(お茶代)
- 申込方法：下記連絡先にFAXかE-mailで申込み。申込時、
件名を「リカバリーの学校」とし、氏名(フリガナ)、
連絡先のTEL・E-mailをお知らせ下さい。
FAXで申込みの場合は送信状不要です。
- 主 催：認定NPO法人Switch
- 連 絡 先：はたサポ担当：小野、今野
TEL：022-762-5852
FAX：022-762-5853
E-mail：info@npo-switch.org

7/28 シニア&親子のためのアニメーション講座2019 チャレンジ1「親子で動画作りを楽しもう!!」

シニアとお孫さん、お母さんとお子さん、お友だち同士、もちろんお一人でも参加できます。パワーポイントを使って、キャラクター作り、アニメーション機能で動きをつけて皆で楽しみましょう。プログラミングの勉強にもなります！

- 日 時：7月28日(日) 10:30～12:30
- 場 所：せんだい環境学習館 たまきさんサロン
(仙台市青葉区荒巻字青葉468-1)
※無料駐車場あり
※地下鉄東西線「青葉山駅」南1出口より右手
(農学部方面)に地上から徒歩3分
- 定 員：12組
- 参 加 費：1組800円(教材費)
※パソコンは1組1台で、会場に準備します。
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申し込み
- 主 催：認定NPO法人仙台シニアネットクラブ
- 連 絡 先：TEL・FAX：022-395-7921(平日9時半～16時半)
E-mail：ssnc06@ybb.ne.jp



助 成 金 情 報

※詳細については、それぞれのホームページ等の要項をご確認ください。

2019 年度上半期 みやぎ生協福祉活動助成金

(海外助成協働事務局 担当：伊藤・塚原)
TEL：03-5292-2911

- 助成対象：宮城県内において地域福祉の向上をめざし、福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的・非営利的で継続的な活動
- 対象団体：宮城県内で活動する団体及びグループなどで、組織の運営や重要事項が決められていること
- 助成金額：1団体上限50万円、講演会・フォーラム・演奏会などは上限10万円
- 締 切：7月20日(土)当日消印有効
- 連 絡 先：みやぎ生協生活文化部
TEL：022-347-3826
URL：https://www.miyagi.coop/member/fukushi/hotwork/

社会福祉助成事業

- 助成対象：障がい者の福祉向上案件、および難病案件、虐待防止案件
- 対象団体：原則として法人・団体。法人格をもたないものであっても、特に助成することにより効果が期待できる場合は対象とします。
※個人および営利法人等は対象外
※詳細は下記HPを必ず確認してください
- 締 切：7月31日(水)必着
- 連 絡 先：一般財団法人松翁会事務局
社会福祉事業部助成係
TEL：03-3201-3225
URL：https://shouohkai.or.jp/zaidanhojin_shououkai/business/shinsei.html

2019 年 Panasonic NPO/NGO サポート ファンド for SDGs (国内助成・海外助成)

- 【共通事項】
- 助成対象：第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織基盤強化に関する以下のコース
①組織診断からはじめるコース
②組織基盤強化コース
※詳細はHPをご確認ください
https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf/npo_summary.html
- 助成期間：①2020年1月1日～8月31日(8ヶ月)
②2020年1月1日～12月31日(1年間)
※①は、その後②に応募することが可能。
②は1年継続助成が可能。いずれも継続助成の選考あり
- 助成金額：①1団体への上限100万円(1年目)
②1団体への上限200万円(毎年)
- 申込締切：7月16日(火)～7月31日(水)必着
- 【国内助成】
- 対象団体：日本国内の貧困の解消、または貧困と関連のある問題の解消に向けて取り組むNPO(法人格の有無・種類は不問)
- 連 絡 先：NPO法人市民社会創造ファンド
(国内助成協働事務局 担当：坂本・霜田)
TEL：03-5623-5055
- 【海外助成】
- 助成対象：新興国・途上国内で貧困の解消、または貧困と関連のある問題の解消に向けて取り組むNGO

未来の東北博覧会記念国際交流基金助成金

- 助成対象：民間の国際交流団体などが行う下記の事業
①国際交流事業 ②国際協力事業
③多文化共生推進事業
※詳細は下記URLリンク先をご確認ください
- 対象団体：宮城県内に主たる事務所を有する非営利団体。
なお、団体の構成員の半数以上が宮城県内に住所を有し、活動するもの。
- 助成金額：上限額は原則として100万円。また、助成額は、総事業費(渡航費を除く)の1/2を限度とし、1万円単位として、1万円未満の端数は切捨て
- 締 切：8月10日(土)
[10月～12月の間に開始する事業]
- 連 絡 先：公益財団法人未来の東北博覧会記念国際交流基金(宮城県国際化協会内)
TEL：022-275-3796
URL：http://mia-miyagi.jp/grant_kikin.html

第29回 イオン環境活動助成

- 助成対象：基本テーマ「人と自然が育むゆたかな森づくり」に合致する以下の活動
①植樹
②里地・里山・里海の保全・河川の浄化
③自然環境教育
④野生生物・絶滅危惧生物の保護
- 対象団体：申請の段階で、実地を伴う活動を含んだ計画を遂行できる体制が整っており、かつ、活動後は報告が速やかにできる非営利活動団体
- 助成金額：総額1億円
- 応募方法：HPのエントリー後、下記より提出書類一式をダウンロードし、必要事項を記入のうえ郵送
https://www.aeon.info/ef/
- 締 切：エントリー受付 8月20日(火)
- 連 絡 先：公益財団法人イオン環境財団 助成担当
E-mail：ef@email.aeon.biz
URL：https://www2.aeon.info/josei/

2019 年度東日本大震災復興支援分配団体募集

- 対象団体：福島、宮城、岩手各県内の被災地や避難先に活動拠点を有する、社会福祉法人や民間の非営利活動法人、公益法人などの非営利組織など(法人格の有無は不問)
※詳細は下記URLリンク先をご確認ください
- 助成対象：東日本大震災により被災した地域の福祉団体が行う以下のような活動
・当該支援のボランティア活動
・児童の生活、進学、学業を支援する活動
・当該県内で活動を行う団体 等
- 助成金額：1団体あたり上限150万円(10団体を予定)
- 締 切：8月31日(土)当日消印有効
- 連 絡 先：社会福祉法人中日新聞社会事業団
E-mail：robola@chunichi-shakaijigyo.jp
URL：http://chunichi-shakaijigyo.jp/